

2013年9月26日

**国際コーポレートガバナンスネットワーク (ICGN)  
東京コンファレンス、来年3月3日、4日に開催決定  
～13年振りの東京開催、弊社高山与志子当機関理事が喜びを語る～**

世界の主要な機関投資家から構成される国際コーポレートガバナンスネットワーク(ICGN)が、日本取引所グループ・東京証券取引所との共催のもと、この度、13年振りに、東京でのコンファレンス開催を決定した。主要機関投資家・市場関係者など国内外から200人以上が参加する予定である。IR とコーポレート・ガバナンスのコンサルティングを手掛けるジェイ・ユーラス・アイアール(本社:東京・千代田)のマネージング・ディレクターで、現在、ICGN にて理事を務める高山与志子は、東京コンファレンスにより、世界の投資家と日本企業との対話がさらに進むものと期待している。

ICGN東京コンファレンスのテーマは、「共通言語の構築：企業と株主への対話にむけた新しい時代」であり、コンファレンスのホストである東京証券取引所が、長年取り組んできた企業のガバナンスの向上による市場の活性化に、まさに合致する内容となっている。実は、今から12年前の2001年、小泉内閣による改革路線に世界の関心が集まる中、同証券取引所との共催によりICGNコンファレンスが東京で開催され、世界の主要機関投資家が参加し大きな成功を収めた。それ以降、関係者から東京での再度の開催を望む声も少なからずあったが、日本の経済・市場の低迷を反映して実現までに長い時間がかかった。今回、安倍政権が掲げる成長戦略への世界の強い期待を背景に、満を持しての東京での再度の開催となった次第である。

弊社高山は、「証券取引所をはじめとした多くの市場関係者、そして、何よりも日本企業の真摯な取り組みと努力の結果、今、日本はガバナンスの新しいステージに入ろうとしている。そのような時期に、ICGN東京コンファレンスにおいて、世界の投資家に向けて力強いメッセージを日本から発信することができるのは、大変喜ばしい。」と語った。国内の主要な投資家・ガバナンス・IR関連団体からも東京コンファレンスへの支援が表明されており、まもなくその詳細が発表される予定である。

東京コンファレンスの2日間の内容は、第一日目の3月3日は複数のセッションのもと、海外投資家と国内企業・国内投資家の間で様々な議論が交わされる予定である。翌4日は、日本を代表する主要な企業によるガバナンスに関するプレゼンテーションが行われることになっている。

ジェイ・ユーラス・アイアールの代表取締役の岩田宜子は、「アベノミクスのもと、日本株への関心

が高まっているが、いよいよメインストリームの投資家による日本株投資が、本格的に始まりつつある。そのような動きをさらに促進するうえで、今回の東京開催は大変意義がある。日本企業のガバナンスが、グローバルな基準から見ても遜色がない、むしろ、実効性の面では多くの優れた点を持っていることへの海外投資家の認知が高まれば、日本の証券市場のみならず、日本企業のビジネスにとっても大きなプラスになる」と力説する。

コンファレンスの詳細は、下記の東京証券取引所、および、ICGN のホームページを参照されたい。または、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)までご質問いただきたい。

株式会社日本取引所グループ・株式会社東京証券取引所

<http://www.tse.or.jp/news/09/b7gje6000003tbcd-att/b7gje6000003tbfm.pdf>

ICGN

<https://www.icgn.org/newsroom#!/pressroom>

尚、当コンファレンスに先んじて、「IRと資本市場シンポジウム」を、青山学院大学北川哲雄教授の監修の下で、来る10月11日(金)10時より、開催の予定である。

当連絡先: ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社:

担当: 高山・岩田

TEL:03-6860-8373 携帯番号:090-6021-1230 メール:iwata@j-urusir.com

## ICGN とは

機関投資家を中心とした非営利団体であり、1995年に設立されて以来、コーポレート・ガバナンスのリーダーからなる世界的組織として発展してきた。今日、ICGNの会員数は約600人で、グローバル投資家も多く参加しており、その総運用資産額は18兆米ドルを超える。ICGNは、コーポレート・ガバナンスのプロフェッショナルたちから構成される投資家主導の組織であり、そのミッションは、効率的な市場と経済を世界的規模で進めるために、コーポレート・ガバナンスの実効性ある基準を鼓舞し促進することである。ICGNは、このミッション実現のために、コーポレート・ガバナンス問題に関する公共政策に影響を与え、世界で開催される国際コンファレンスで人々を結びつけ、ベスト・プラクティスに関する指針の作成と公表を通じて、コーポレート・ガバナンスのプロフェッショナルにおける対話を知らせる活動を行っている。ICGNが設立されてから約20年が経過したが、その間、ICGNは、25の異なる都市で40以上のコンファレンスを開催している。

## ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社について

ジェイ・ユーラス・アイアールは、2000年に創立された独立系のコンサルティング会社。設立以来、IRの分野のパイオニアとして、日本企業が世界でガバナンスやIRに関して直面する様々な問題を解決することを支援している。同社の創立者は、ガバナンスや資本市場に関する国内外の主要な機関での経験（東証のディスクロージャー優良企業選定委員会メンバー、ICGNの理事など）を有している。同社は、IRやガバナンスの分野における業界のリーダーとして、日本企業の考え方を世界の金融市場に伝えることにも貢献している。